

# わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.2 R5,5,19



目を凝らし、  
耳を澄ます...



園庭で遊んでいると「ホ～ホケキョ♪」どこからウグイスの鳴き声が聞こえていました。一緒に遊んでいた子どもたちとしばし動きを止めて耳を澄ましてみると…「ホ～ホケキョ！」間違いなくウグイスの鳴き声です。姿は見えませんが、傍でウグイスが鳴いています。空を見上げ、耳を澄ますと今まで気づかなかった小鳥たちに出会うことができました。子育てに奮闘中のツバメが勢いよく飛んでいたり、今年もメジロが遊びに来ていたり、名の知れないきれいな青い鳥が木の実や虫をついばみに来ていたり、緑が増えて小鳥がやって来るようになったのか、私たちの五感が研ぎ澄ませれるようになったのか、鳥たちにとってはここまで餌を探しに来なくてはならない社会的事情があるのか、その理由は分かりませんが、身近で見つけられる小鳥の姿に心が動き始める子もいたのです。

## どんな意味？

～こどものことばから読み取る思い～

園庭で遊ぶ子どもから聞かれたたくさんのことば。楽しい子どもの世界へご案内します！

命名「ウサギカメムシスゴカメムシ」



自分で見つけたカメムシを愛おしく思う気持ちが可愛らしさを象徴する「ウサギ」という表現になり、カメムシのスゴ技を目の当たりにした驚きと感心が「スゴ（イ）」という表現になりました。そして、命名された「ウサギカメムシスゴカメムシ」まるで早口言葉のような長～い名前になりました。声をかけるのも大変です。さあ、上手に言えるかな？

「見つけた、幼虫の赤ちゃん！」



小さいものは「赤ちゃん」という印象が強いのでしょうか。だって、自分たちは大きくなって幼稚園に通うようになったのですから。土の中から見つけ出したのは、これまで見つけた幼虫よりも小さな幼虫。小さいから「赤ちゃん」なのです。「本当だ、赤ちゃん見つけたね」それでいいじゃないですか！

「水が固まる」



雨上がりの園庭には、水たまりがいっぱい！雨水が流れた後を見つけた子どもたちと水路を作って遊びました。でも、あるところまでくると水が流れてこない…。すると「水が固まった！」水が流れてこない様子を表していたのですね。再び動き出すように波立たせたり、傾斜をつけたり、水を注いだりしていました。降園時には、まったく水がなくなっていて、水路だけがきれいに残っていたんですよ。水はどこにいったのでしょうか…？

こどものことばを  
そっと聞いてみよう！

